



「旧陸軍登戸研究所」資料館 野田・九条の会 見学会のお誘い

80年前 そこは 「秘密」の研究所

戦争の恐ろしさは戦闘行為だけではありません。経済や市民生活を脅かす活動が「秘密」裡に行われます。11万坪の敷地に1000人もの人々が働いていた旧日本陸軍の「登戸研究所」は、「秘密戦」(防諜・諜報・謀略・宣伝)を担っていた研究所でした。秘密中の秘密であった偽札製造はじめ、生物兵器、毒物兵器、スパイ機材など、さまざまな軍事機密の開発や製造が行われていました。「本土決戦」の準備が進められていた戦争末期には、「風船爆弾」を「決戦兵器」と位置づけ、多数の女子学生を過酷な作業に動員して製造し、アメリカ西海岸に向けて打ち上げました。

敗戦時に証拠隠滅作業が徹底され、資料のほとんどが焼却されました。しかし40年後に高校生や市民の手で掘り起こし活動が始められ、元所員を含めた広範な保存運動へと発展、現在の「明治大学平和教育登戸研究所資料館」が設立されました。



登戸研究所 見学会 (電車利用)

と き 4月3日(木)

◎8:42 愛宕駅発 柏行き先頭車両乗車

- JR 常磐線「柏」(9:19)⇒小田急線「生田」(10:52)
⇒徒歩、またはタクシーに分乗
- 帰りは、同ルートで16:00頃愛宕帰着

ところ 明治大学平和教育登戸研究所資料館

- 川崎市多摩区 明治大学生田キャンパス内
- 係員の説明・案内1時間、自由見学30分程度

費 用 往復電車代 2486円 (各自負担)

- 昼食は、学食など利用 (各自負担)

申込み 3月15日(土)締切 田口: ☎ 090-9012-5603

小原: ☎ 090-3549-8047